

「EXPO 探検隊 ―多文化共生社会を探せ！―」実施要領

1 事業の趣旨

在住外国人の長期滞在化・定住化傾向が年々高まる中、日本人と多様な文化的背景を持つ外国人がともに安心して暮らしていく地域社会を構築していくことが必要となっている。また、国際社会においてはグローバル化が進み、国際理解教育や人権教育等が地球的課題「持続可能な社会づくり」と関連して取り上げられてきている。こうした中、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、対等な関係を築きながら、ともに生きていく社会（多文化共生社会）を目指すため、地球的課題と関連させながら学び、気軽に参加できる場を提供する。

2 内容

共生の世紀を担っていく高校生を対象に、これからの社会がグローバル化とともに多文化共生社会へと向かう状況や地球的課題を自分自身の問題として理解してもらいながら、今後の自身の学校や地域社会づくり参画の糧として、活動し、発信することをねらう。

なお、実施にあたっては、持続可能な社会づくりや多様な文化を感じられる場所として、地球市民村や外国館等を調査し、最も効果的であると考えられる地球市民村の会場を使用し、参加体験型で学ぶ方法で実施する。

3 実施方法

(1) 実施日時及び場所

平成17年8月24日（水）10:00～16:30 「愛知万博・長久手会場」
25日（木）10:00～18:00 「愛知万博・長久手会場」

(2) 対象及び定員

愛知県内在住、在学の高校生 30名程度

(3) 募集

参加費は無料。愛知万博の入場券は、当協会にて用意する。

2日間参加可能なことを条件に一般公募（7月中旬から7月末日まで）する。（はがき又はEメールにて応募受付し、応募者多数の場合は抽選の上、8月10日までに参加決定者に通知する。）

(4) 方法

参加・体験型ワークショップ

- ① 多文化共生社会、持続可能な社会を考える要素を提示し、グループごとに分かれてテーマを設定し、調査対象を絞る。
- ② 地球市民村（市民村8月テーマ「地球市民交流」）と外国パビリオンを各班で設定したテーマに基づいて調査、見学等を行い、それを議論してまとめ、発表する。

(5) 講師（ファシリテーター）

財団法人愛知県国際交流協会・プラザ国際理解教室ファシリテーター

(6) プログラム作成

ファシリテーター及び当協会担当者による事前会場調査を行い、作成決定する。

4 実施機関

主催：財団法人愛知県国際交流協会

協力：2005年日本国際博覧会協会 企画事業 地球市民村